

海と島を知って体験！

かがわ sea マスター

瀬戸内海の島文化の魅力と未来への危機を学び、海の大切さを広めることを目的に、
 県下の小学生親子で結成されたのが、海と日本プロジェクト かがわseaマスターです。
 瀬戸内国際芸術祭の舞台でもある男木島で、海ゴミや島の暮らしについて学び、海への想いを込めて
 海ゴミアートを制作。新聞紙面づくりにも挑戦し、未来へ向けたメッセージを届けました。



7/22 男木島の海と暮らしを学ぼう！



男木島の海岸で海ゴミや流木を集め、
 海ゴミが世界の海洋環境に与える影響などを学びました。
 昼食には自分たちでさばいたアジや、
 島の郷土料理を食べ、海の幸を味わいました。
 また島の暮らしについてお話を聞き、
 瀬戸内の島々が抱える問題や良さについて学びました。

8/11 海ゴミアートを作ろう！

男木島で拾った海ゴミや流木を使って、自分たちで
 アート作品を制作、高松市立中央公園で取り付けをし、
 『光を求めて』が完成しました。8月12日から開催された
 高松まつりで点灯式を行い、14日まで展示をしました。



8/22 新聞の紙面づくりに挑戦！



7月22日、8月11日のイベントを
 とお通して、それぞれが感じたことや
 学んだことをもとに新聞記事を
 書きました。記事は、8月22日発行の
 四国新聞こどもニュース&スポーツに
 掲載されました。

8/22 ~ 8/27 高松市美術館で展示

8月22日~27日まで高松市美術館の市民ギャラリーで
 展示をしました。約1,100名の方が展示を見に訪れ、
 多くの方に活動を知ってもらうことができました。

